

今月のテーマ

はやま住民福祉センター運営委員会 開催

葉山町社会福祉協議会の地域福祉部門を担う、はやま住民福祉センターの運営委員会が、11月26日(金)開催されました。厚生労働省においては、改革の基本コンセプトとして「地域共生社会」の実現を掲げ、「ニッポン一億総活躍プラン」や、「『地域共生社会』の実現に向けて(当面の改革工程)」、「我が事・丸ごと」地域共生社会実現に基づいて、その具体化に向けた改革を進めています。

「地域共生社会」とは、このような社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すものです。

「地域共生社会」の実現に向けた4本柱として「1. 地域課題の解決力の強化」「2. 地域丸ごとのつながりの強化」「3. 地域を基盤とする包括的支援の強化」「4. 専門人材の機能強化・最大活用」があります。

それらを踏まえ、はやま住民福祉センター運営委員会では、大学教授・地域活動者・高齢・児童・障害・ひきこもり支援などあらゆる分野で活躍している方々を委員として迎え、誰も孤立しないまちづくりを目指して協議を進めます。

今回は各委員の活動報告や、事業から見えてきた対象者の生活課題などについて、情報交換を中心に話し合いを行い、特に8050問題(80代の親とひきこもり状態の50代の子が同居する世帯の孤立化・困窮化に伴うさまざまな問題)など、共通してケースとして関わることが分かりました。今まで8050問題のようなケースは、支援対象となった人を中心に関わりを持ち、ひきこもり状態の方などに視点が当たらなかったことも多く、スルーされていた問題が共通認識され、まさに制度・分野ごとの『縦割り』が横で繋がり、広がっていきました。地域共生社会の実現に向けた取り組みが、はやま住民福祉センター運営委員会に備わっていかれるよう、また具体的な取り組みなど報告していきたいと思っております。

～はやま住民福祉センター運営委員会のメンバー～

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| ○一色地区福祉の輪「ぬくもり」の会 坂田氏 | ○葉山町町内会連合会 守谷氏 |
| ○葉山町民生委員・児童委員協議会 矢村氏 | ○不登校・ひきこもりの家族会 ゆずり葉の会 橋本氏 |
| ○葉山町地域包括支援センター・清寿苑 藤原氏 | ○葉山町基幹相談支援センター(障害者相談支援) 菊池氏 |
| ○葉山町福祉課 鈴木氏 | ○里親、武山養護学校PTA 星野氏 |
| ○聖徳大学 心理・福祉学部 豊田氏 | ○葉山町社会福祉協議会 大熊理事 |
| ○葉山町子育て支援センター ぽけっと 上野氏 | |

●第2次葉山町地域福祉推進プラン素案が完成！ ～パブリックコメントの募集が開始されます～

第2回葉山町地域福祉(活動)計画策定委員会が11月11日(木)に開催されました。第2次葉山町地域福祉推進プランは、現行プランの課題や目標などを評価して、見直しを行い、コロナ禍での対応などを踏まえた、令和4年4月から令和7年3月までの3か年とした現行のリニューアルプランです。

12月上旬より葉山町社会福祉協議会の窓口や葉山町の公共機関、葉山町のホームページにて1か月間、閲覧できるようになります。何かございましたら、パブリックコメントをお寄せください。



葉山町役場 ホームページ

●葉山じょうほうカフェ ～パソコン・スマホなどの使い方を専門家に教えてもらおう～

パソコンやスマートフォンなどの使い方の練習ができるカフェを12月に開催いたします。年賀状をパソコンで作りたい！ スマホの画像を取り込みたいなど、お気軽にご参加ください。

日 時:12月9日(木)・20日(月)1部10時～11時 2部15時～16時
場 所:葉山町社会福祉協議会 ちっくりかん (逗子駅行風早橋バス停前)
対 象:町内在住
定 員:各1名【先着順】
受講料:無料
申込先:葉山町社会福祉協議会 TEL/875-9889 FAX/876-1873

